

【整備計画の趣旨】

- 1) 災害公営住宅とは : 災害が発生した際、住居を失った被災者に対し自治体が提供する住宅
- 2) 整備計画の位置付け: 涌谷町復興まちづくりマスター・プランや宮城県復興住宅計画の趣旨を踏まえて、涌谷町の災害公営住宅の整備方針を示したもの。

【涌谷町の状況】

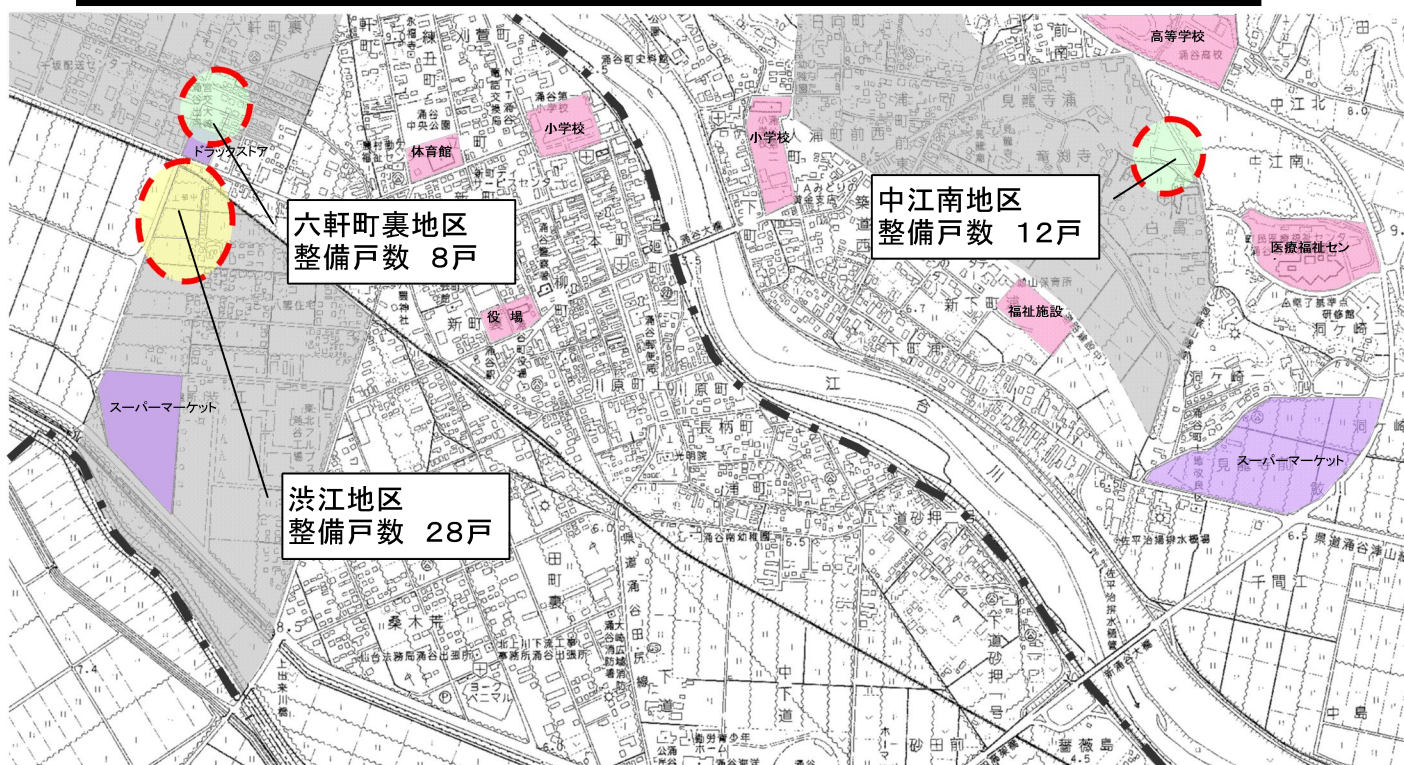
- 人口17,528人、世帯数5,892世帯
- 発行済罹災証明(住居): 1,870件
全壊143件(8%)、大規模半壊189件(10%)、半壊545件(29%)、一部損壊993件(53%)
- 応急仮設住宅(みなし仮設)
町営住宅2団地41戸、県営住宅2団地2戸、民間賃貸住宅43戸

【災害公営住宅の整備方針】

当町では、平成23年3月11日の東日本大震災による被災者及び避難者を対象として、震災により定住の場を失った被災者に迅速に居住の場を提供することを目的として災害公営住宅の整備を計画します。

整備計画について、次のことを基本方針として災害公営住宅整備を検討します。

- 気候特性に対応した住宅の整備
- 高齢化に対応したバリアフリー化及び小規模世帯に対応した住宅の整備
- ファミリー世帯が安心して生活できる住宅の整備
- 居住環境の向上に配慮した整備・コミュニティ形成や耐震性に配慮した住宅団地づくり



■ 意向調査結果

- 1) 実施期間: 平成23年度7月17日(火)～平成24年度8月15日(水)
- 2) 発送件数: 245世帯
- 3) 回収件数: 128世帯
- 4) 災害公営住宅入居希望数: 48世帯

■ 計画戸数

- 1) 整備期間: 平成23年度～27年度の5箇年
- 2) 整備戸数: 約**48戸**の災害公営住宅を整備します。
 ※戸数は今後の調査や計画等により変更の可能性があります。

地区別整備戸数 (単位: 戸)

整備地区名	計画戸数
渋江地区	28
六軒町裏地区	8
中江南地区	12

※整備戸数は今後の調査等により変更する可能性があります。

- 3) 年次計画(年次別完成戸数)

年次	H23	H24	H25	H26	H27
戸数	—	(用地取得)	—	48	—

※現状で想定しているスケジュールであり、面整備等の進捗に合わせ、変更が想定されます。

■ 整備概要

- 1) 整備手法
 涌谷町独自で、設計委託と工事発注により建設。
- 2) 整備面積

地区別整備面積 (単位: m²)

整備地区名	土地面積
渋江地区	9,958
六軒町裏地区	2,757
中江南地区	3,841

※整備面積は今後の面整備等により変更する可能性があります。


- 3) 構造: 木造 平屋建て・2階建て
- 4) 住戸タイプ

地区別住戸タイプ

整備地区名	世帯構成	構造	間取
渋江地区	単身及び2人世帯用	木造平屋	1LDK 50m ² 程度(約15坪)
	2～3人世帯用	木造平屋	2LDK 60m ² 程度(約18坪)
	3～5人世帯用	木造平屋・2階	3LDK 70m ² 程度(約21坪)
六軒町裏地区	3～5人世帯用	木造平屋	3LDK 70m ² 程度(約21坪)
	6人以上世帯用	木造2階	4LDK 90m ² 程度(約27坪)
中江南地区	単身及び2人世帯用	木造平屋	1LDK 50m ² 程度(約15坪)
	2～3人世帯用	木造平屋	2LDK 60m ² 程度(約18坪)
	3～5人世帯用	木造2階	3LDK 80m ² 程度(約24坪)
	6人以上世帯用	木造2階	4LDK 90m ² 程度(約27坪)

涌谷町災害公営住宅予定地 案内図



凡 例	
	事業区域

涌谷町災害公営住宅予定地 案内図



凡 例	
—	事業区域